

道東太平洋沖の流速場（2018年02月 海況速報No.180 付記）

2018/3/8

中央水産試験場 海洋環境G、釧路水産試験場、函館水産試験場

釧路水産試験場所属試験調査船「北辰丸」による、流れの調査結果をお知らせします。

親潮：親潮（O1：流速40~60cm/s（100m深））は、根室から襟裳岬付近までやや蛇行しつつも南西向きに流れています（図1）。その影響で襟裳岬以東では、広い範囲で親潮水（100m深水温5℃以下）が分布しています。しかしながら、沖側での水温は例年よりも1~2℃高めとなっており、例年に比べると親潮の勢力は並みからやや弱めだと考えられます。

暖水：現在、津軽暖流の流路は青森側を岸に沿って南下する沿岸モードとなっています（図1：TW1）。津軽暖流の流れは沿岸寄りですが、親潮の影響が襟裳以東に限られている影響か、襟裳以西には津軽暖流水が広範囲に分布しており、水温はやや高めです（図2）。

今後の見通し：現在、観測海域内には目立った暖水は存在せず、親潮も道東沖を順調に流れています。一昨年まで見られたような暖水塊による親潮南下の阻害要因は見られず、今春は親潮が順調に流れると予想されます。

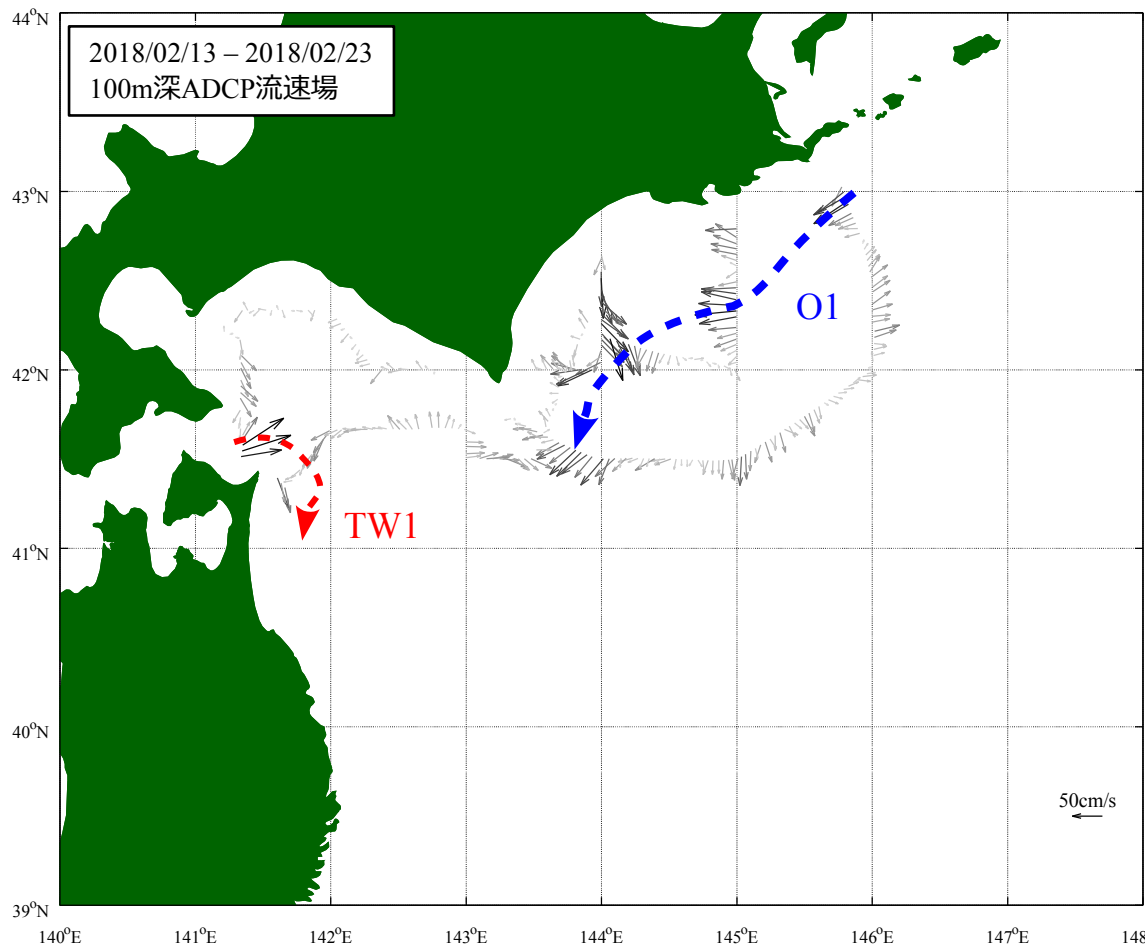


図1 ADCPによる100m深の流速場と模式図。実線矢印は向きでその場所の流向を、長さや色の濃淡が流速を表す。点線矢印は推定された親潮（青）と暖水（赤）の流れの模式図

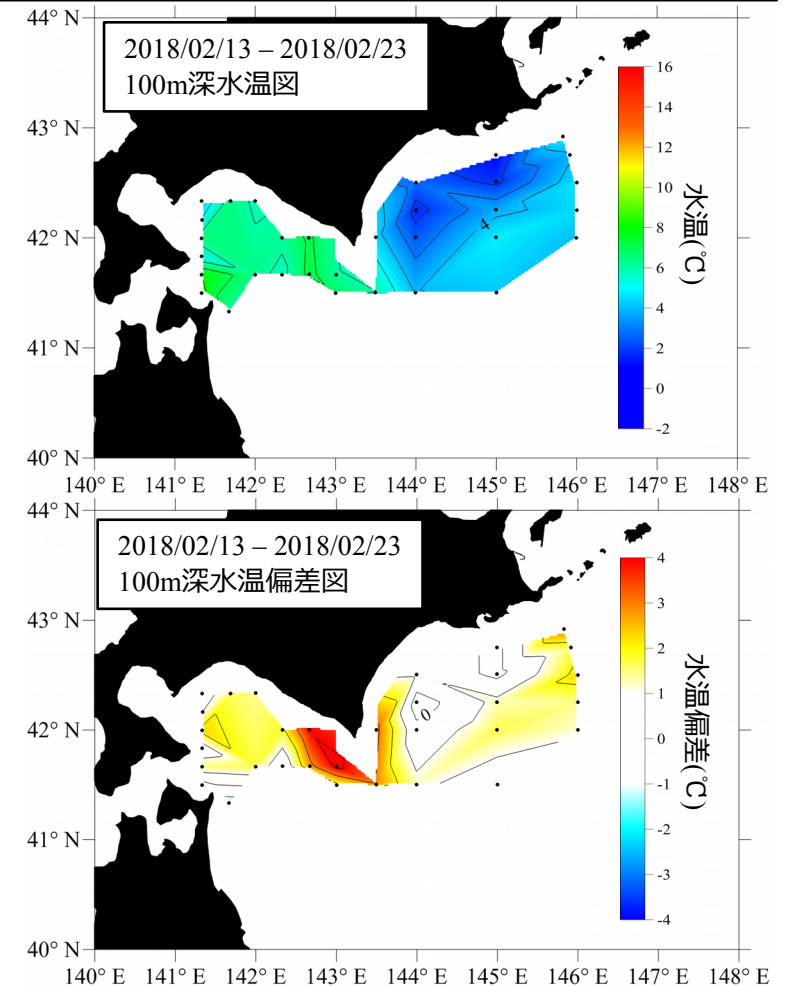


図2（上）100m深水温図
（下）100m深水温偏差図（1989~2008年平均からの差）